

## <岸和田市>

### 1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

#### 小学校

24校に学校司書が、週に2日、合計12時間ずつ配置されている。(2校に一人が16名、1校に一人が3名)

主に、読み聞かせ・ブックトーク・本の紹介・選書・本の貸し出しや返却・本の整理や修理等の活動をしてきている。この週に2日、合計12時間ずつ配置により、児童の読書活動の幅も広がり利用も増えている。とてもありがたいので、常時配置を希望。

必要に応じて、岸和田市立図書館から本の貸し出し、地域によっては、岸和田市立図書館からなかよし号巡回。

#### 中学校

全校11校とも、週に2回ずつ学校司書が配置され、図書室の整備や本の整理やお知らせの掲示・新刊の搬入などの活動をしている。

1人の学校司書が2校を週2回(1回あたりは6時間)担当している。

熱心に新刊本の紹介をしたり、積極的に研修会に参加したりする学校司書もいる。週2回になり、図書館の活性化には、1回の時よりも、より大きく役立っていると思われる。週3回ぐらい配置されれば、読み聞かせやビブリオバトルなどの、読書教育的な取り組みもお願いできると考えられる。

### 2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

岸和田市学校図書館協議会に、

岸和田市内の全中学校と小学校が加盟

4月・・・総会

9月・・・読書感想文コンクール審査会

12月・・・読書感想画コンクール審査会

(役職等は、会長・副会長・書記・会計・プロック委員・読書感想文・読書感想画)

地域の有志の活動として、「岸和田市子ども文庫連絡会」がある。

司書教諭は、担任も兼務しているが時間軽減がなく、仕事の時間が時間外になることが多い。

### 3. 学校図書館の具体的な活動例

- ・毎日、図書委員が図書室を開放
- ・図書委員のおすすめの本コーナーを設置
- ・雨の日に図書委員による紙芝居  
学期に1回の読書週間での図書委員の紙芝居

### 4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

コンピュータを活用している小学校 (Win書庫) 中央小学校・城内小学校・浜小学校・朝陽小学校・東光小学校・旭小学校・太田小学校・修斉小学校・東葛城小学校・春木小学校・大宮小学校・城北小学校・新条小学校・八木北小学校・八木小学校・八木南小学校・光明小学校・常盤小学校・山直北小学校・城東小学校・山直南小学校・山滝小学校・大芝小学校

### 5. 学校図書館に関して、特徴的なこと

全体的にカーペットを敷いている学校や、絵本コーナーを設置し、畳やカーペットを敷いている学校もある。児童がゆったりとした気持ちで読書ができるようにしている。また、机・椅子を用意し、学習に使用できるような環境づくりにも努めている。

主に肢体不自由のある児童の読書姿勢を考慮して、座卓の使用を予定している。

図書室入室の段階で上靴を脱ぐので、図書室自体も比較的清潔に使用できている。

主にNDCの10分類で図書を分類しているが、新しい本のコーナーやバリアフリー・平和学習・作家コーナー・お勧めの本のコーナー・料理の本のコーナー・寄贈本のコーナー等、必要に応じて設置している。

### 6. コロナウイルス感染の対策について

#### <行政の支援内容>

- ・学校に一任している。

#### <学校独自の対策>

- ・本の貸出・返却の際にアルコールで消毒を行う。
- ・図書室へ入室する際に、手洗いを徹底させる。

### 7. タブレット端末の導入について(現状と問題点)

・令和2年度に、一人一台タブレット端末配布が完了した。

・破損等の際は保証があるため、安心して使うことができる。

・通信環境が家庭によって不安定である(無料でWi-Fiの貸し出しは行っている)。

・夏休みなどの長期休業には家庭に持ち帰りを実施している学校多数あり。

## <貝塚市>

### 1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置(1小1中につき隔週1名)主に、本の貸し出しおよび返却、本の修理、

本の紹介、授業に関する本の収集、読み聞かせ、  
図書室の整備、図書館だよりの作成等

## 2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

貝塚市教育振興会 学校図書館部

概要：小中学校における学校図書館  
活動の充実を図る

実施時期：月1回

場所：貝塚市内の小学校、

または、貝塚市民図書館会議室

内容：各小中学校における図書活動の交流  
図書活動の充実にむけた取り組み

5月：市教育振興会学校図書館部会の開始

・部長・副部長の選出

・今年度の活動計画の作成

6月：「本とともにだちになろう」

(夏季休業前の配布プリント)のため  
のおすすめの本の選定について

7月：「本とともにだちになろう」

(夏季休業前の配布プリント)の作成

9月：岬中学校図書館見学

10月：読書啓発アンケートについて交流

11月：図書活動の充実にむけた取り組み実践

12月：司書からのお話会交流

1月：年度末反省と来年度に向けて

2月：なし

## 3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・本の貸し出しおよび返却
- ・学校図書館部より課題図書の紹介と読書感想文の書き方を児童に配布(夏季休業前)
- ・図書委員による学期に1回の「読書週間(月間)」の活動(読み聞かせ、おすすめの本の紹介、しおりづくり、ビブリオバトル等)
- ・学校司書連絡会(年間4回開催)
- ・市民図書館の館長や職員、学校司書、教育委員会指導主事をメンバーとした会議を実施

## 4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・H29年度に各小中学校図書室にPCが導入。

## 5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・NDCに基づく10分類で図書を分類
- ・さまざまな図書コーナー(新しい本コーナー、今月のおすすめコーナー、寄贈本コーナー、作家コーナー等)の設置
- ・地域ボランティアによる絵本・紙芝居の読み聞かせなど

## 6. コロナウイルス感染の対策について

<行政の支援内容>

- ・各校の図書室設置用のアルコールを配付。
- ・市民図書館の巡回、貸し出しの方法の工夫。
- ・<学校独自の対策>
- ・本の消毒
- ・図書室の入室人数の制限

## 7. タブレット端末の導入について(現状と問題点)

- ・調べ学習に活用
- ・ウェブの情報が児童に適していないものも少なくないため、活用するのが難しい。

<泉佐野市>

## 1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置  
→小学校には週1回配置(日根野小、中央小は週2回)  
→中学校には週2回配置

## 2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- ・子ども読書活動推進連絡協議会
- ・学校図書館担当者会議(学期に1回程度開催)

## 3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・保護者、地域向けに学校図書館ボランティア募集のチラシを配布
- ・中学校図書館の夏季休業中における地域開放
- ・図書委員(文化委員)によるおすすめ本の紹介
- ・各学校の図書担当者がおすすめ本の紹介文を作成し、まとめるなど、リーフレットを夏季・冬季休業前に児童・生徒に配布
- ・本の貸し出し・返却

## 4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・市内中学校1校のみ電子化

## 5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせなど

## 6. コロナウイルス感染の対策について

<行政の支援内容>

- ・スクールサポートスタッフによる消毒の実施
- ・感染対策の備品・消耗品の支給

<学校独自の対策>

- ・座席を制限し、間隔をとれるようにする
- ・図書室内の導線を明確にし、一方通行に
- ・本の消毒の実施

- ・返却本を一定日数置いておいてから書棚に並べるようにする

### 7. タブレット端末の導入について(現状と問題点)

- ・各小中学校にて一人一台導入済み (chrome book)
- ・調べ学習に活用
- ・インターネットは情報過多であるため、便利な一方、正しい情報の見極めや取捨選択することが難しい状況がある。

## <阪南市>

### 1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- ・読書センターの機能充実だけでなく、学習センター・情報センターとしての環境整備を進めていくために、1校1名配置をめざしている。
- ・学校図書館を中心として、図書館だよりの発行や読書週間、読書マラソン、タブレットを活用したおすすめ読書本の投票など、工夫した取り組みを考え、読書推進に繋げてきた。
- ・全小中学校に「よみうりKODOMO新聞」、全中学校に「よみうり中学生新聞」、日刊紙を配置している。
- ・希望校において「えほんのひろば」を開催している。

### 2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

阪南市子ども読書活動推進協議会

民間団体	はんなん子育てネットワーク代表
	子どもNPOはらっぱ代表
	社会福祉協議会代表
	阪南市子ども文庫連絡会代表
学校関係	阪南市みんなの図書館を考える会代表
	泉鳥取高等学校代表
行政関係	福祉部子ども家庭課代表
	健康部健康増進課代表
	生涯学習部学校教育課代表
	生涯学習部生涯学習推進室代表
	生涯学習部図書館代表

### 3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・市教委主催研修学校司書研修 (年間10回程度) (教育委員会+学校司書)

### 4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・全小中学校で電算化 (H14年から導入 : H27年度9月から新システムに入れ替え)

- ・蔵書データについては、バーコード管理しているが、書誌データは手入力している。

### 5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・学校図書システムについて、小中学校がネットワークでつながっており、相互貸借をデータ管理できる。
- ・学校司書が主となり、学校司書研修を計画、実施している。研修の内容によっては、市立図書館との合同開催もある。

### 6. コロナウイルス感染の対策について

<行政の支援内容>

実施していない。

<学校独自の対策>

実施していない。

### 7. タブレット端末の導入について(現状と問題点)

- ・各小中学校にて一人一台導入済み
- ・タブレット端末の活用方法や実際の指導について各校の取り組みなど情報交換をしている。

## <泉南市>

### 1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポート

- ・学校図書館司書の配置は、泉南市で6名、3か月ごとにローテーション

### 2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

- ・子ども読書活動推進連絡協議会
- ・学校図書館担当者会議 (学期に1回程度開催)

### 3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

- ・日々の貸し出し業務<各校>
- ・長期休み前に 一人 2冊貸し出し。
- ・委員会のポスターや図書委員会による本の紹介
- ・図書館だよりの発行
- ・ブックカバーをつける(教員による)
- ・課題図書の循環
- ・移動図書館 (図書室の本をいつでも教室で読めるように 20冊程度廊下においています。委員会の際に本を入れかえる)
- ・図書室の季節掲示

### 4. 学校図書館の蔵書管理方法

- ・貸出は手作業 (委員会の児童による貸出の為)
- ・電子データにして管理<各校>

### 5. 学校図書館に関する特徴的なこと

- ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせ

#### 6. コロナウイルス感染の対策について 実施していない

#### 7. タブレット端末の導入について(現状と問題点)

- ・各小中学校にて一人一台導入済み(ipad)
- ・端末を使っている活用状況は学校によって違うが、どの小学校でも積極的に活用している。
- ・小学校から段階的に使用し、中学校へ繋げられるようにしていきたい。

#### <泉南郡>

#### 1. 市町村の学校図書館に関する具体的方策 や、行政からのサポート

- <熊取町> ・学校図書館司書の配置  
(全校に1名非常勤の配置)
- ・連絡会を月1回開催
- ・選書会を月1回開催
- <田尻町> ・学校図書館司書の配置  
(全校に配置)
- <岬町> ・学校図書館司書の配置  
(3小に1人)

#### 2. 学校図書館関係の組織の形態と活動

#### <熊取町>

#### ①子ども読書活動推進連絡協議会

- 対象年齢別の部会に分かれ、年2、3回研修会や情報交換を行う
- ・「学齢期子ども読書活動推進連絡会」の開催  
図書館・学校(各小中学校図書館担当教員・学校図書館司書)・学校教育課が、各学校の取組みについての報告や、情報交換、研修会を行う。
- ・「おはなしキャラバン」(1年~4年生)  
保育所・小中学校の子どもたちに対し、文庫連が、絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行っている。

#### 3. 市町村の学校図書館の具体的な活動例

#### <熊取町・岬町・田尻町>

- ・朝読活動時間を設けている。
- ・年度初めにすべての子どもにオリエンテーションを実施し、学年に応じた図書室の利用の仕方等について指導する。
- ・図書館だよりの発行

#### <熊取町>

- ・「熊取町図書館を使った調べる学習コンクール」を実施し、子どもたちの情報活用力を育成する。

#### 4. 学校図書館の蔵書管理方法

#### <熊取町>

- ・令和4年2学期から、システムが導入され、電子データにしてコンピュータによってネットでも蔵書の閲覧を可能にする。

#### <田尻町>

- ・平成23年から電子データにしてコンピュータによってネットでも蔵書の閲覧を可能にする。

#### <岬町>

- ・平成22年から電子データにしてコンピュータによってネットでも蔵書の閲覧を可能にする。

#### 5. 学校図書館に関する特徴的なこと

#### <熊取町>

- ・住民団体・関係機関・町の関係部局が連携して、子どもの発達段階をふまえ、身近な読書環境の充実を図っている。
- <岬町>
  - ・岬町お話の会の方が学期に1度来校し、お話を実施している。
  - <田尻町>
    - ・司書の先生による読み聞かせ
    - ・図書委員会による読書啓発活動(読書の木)

#### 6. コロナウイルス感染の対策について

#### <行政の支援内容>

- ・具体的な活動場面ごとの感染症予防対策について、5月14日 公益社団法人日本図書館協会作成「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を参考に教育委員会が作成し各校に周知。(レベル1~3の各段階についての図書館活動について、感染症対策の具体例について、学校再開後の図書館会館に向けた準備について。)

#### <学校独自の対策>

- ・読み聞かせの際に座るカーペットを2枚にして離れる。
- ・授業中の貸出・返却は司書の先生で行う。
- ・入ってすぐのカウンターに消毒液を設置。
- ・入室前に手を洗うことを話す。

#### 7. タブレット端末の導入について(現状と問題点)

#### <熊取町>

- ・ポケット図書アプリでの読書活動に取り組んでいる。

#### <岬町>

- ・読書アプリの導入
- ・電子教科書の導入
- ・調べ学習の際、本、インターネットを選択情報収集できるように指導

〈田尻町〉

- ・読書アプリの導入
- ・調べ学習の際の活用
- ・wifi 家庭通信状況調査の実施

## 〈泉南地区 コンクール活動〉

### 〈読書感想文コンクールについて〉

(岸和田市)

小：9月5日（火）15時30分～

岸和田市立山滝小学校（山滝小学校 泉谷 美都子）

岸和田市内の小学校の図書主任を集め行う。

中：9月11日（月）15時00分～

岸和田市教育センター（北中学校 中江 弘）

岸和田市内の中学校教科研究部会図書館部の部員を集めて行う。

(貝塚市)

地区審査の担当者 西原 和隆（貝塚市教育委員会学校教育課）

地区審査の概要 2回の読書感想文実行委員会を開催

第1回は小中合同の開催。実施要項や今後のスケジュールの確認を行う。

第2回は小中別で審査会を実施。読み合わせと選定、賞状の配付を行う。

小：9月4日（月）16時～ 貝塚市役所会議室

中：9月8日（金）16時～ 貝塚市教育研究センター

(泉佐野市)

小：9月13日（水）15時00分～

泉佐野市立中央小学校

中：9月13日（水）15時00分～

泉佐野市立中央小学校

各小中学校で選出された作文の中から、自由図書と課題図書の代表作品を決定する

(泉南市)

小：9月11日（月）16時～ 一丘小学校（古田久子）

各校で選出された低・中・高学年、自由図書と課題図書の代表作品を提出

選定日までに各校で全作品に目を通しておき、選定日に泉南市の代表を決定

賞状は市で作成する。各校で名前を記入し、表彰

する。

中：中学校での読書感想文コンクールは実施されない。

(泉南郡（熊取町・田尻町・岬町）)

小学校 9月15日（金）15：00～ 田尻小学校

中学校 9月15日（金）熊取北中学校

(阪南市)

担当者 有田 佳乃巳（阪南市立下荘小学校）

富永 愛（阪南市立東鳥取小学校）

小：9月12日（火）市内の各小学校から1～2名ずつ集まり、低・中・高のブロックに分かれて行う。

中：市内の各中学校から担当者が集まり実施。

### 〈読書感想画コンクールについて〉

(岸和田市) 12月に市内審査会実施。

(泉南郡（熊取町）) 一部中学校で実施。